いわき民報

發行所
平市田町48 電381・176・1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

参院補選

投票は五箇所で

廿四日七時から午后六時まで

二十四日行われる參議院議員選擧の平市投票所は左の五ヵ所と決定した、投票は七時から午後六時まで

▽第一投票所、公會堂日本間（管理者、管間正英）一、二、三、五、六、七、十一、十二、十三、二十八の各區

▽第二投票所、三小講堂（管理者、長谷川政）八、九、十、十八、二十二、二十六、三十五、六の各區

▽第三投票所、才槌小路二中分校（管理者 山岸清水）四、十四、十五、二十一、二十五の各區

▽第四投票所、二小講堂（管理者根本益利）十六、十七、二十四、二十七、三十二―三十四の各區

▽第五投票所、四小（管理者、關場和一）二十九―三十一の各區

市廳舍廿日に引越し

公會堂は一般に開放

新廳舍が間もなく完成するので平市役所では二十日一齊に引越を行い二十一日から新廳舍で事務を開始する、引越したあとの公會堂は直ちに大手入を行い二十四日の參議員議員補缺選擧には投票會場として使用するが以後一般市民に開放する、使用料は今度の定例市會にかけて決定することになつている

職階制問題の講話を開く

七日石炭局で

平石炭局では午後一時から局會議室に通産省秘書官尚事務官を招聘『職階制と職務記述書に就いて』と題する講話を行うが一般官公職員にも關係ある問題であるところから局外官公職員の參加ものぞんでいる

勞働講座の講師も決る

十日から三日間

平地區勞働組合會議、炭勞東部支部共催平勞政事務所後援による『勞働講座』は來る十、十一、十二の三日間に亘り本社樓上、平市勞働會館にひらかれるが聽講無料、多數勞働者一般人の聽講をのぞんでいる

【十日】◇午前九時、平市勞働會館『經濟狀勢と勞働運動』講師福島大學教授中村常次郎◇午後一時半平市勞働會館『勞働組合と生活協同組合』講師縣消費協同組合連合會理事長御原毅

【十一日】◇午前九時、本社ホール（今後の勞働運動の方向）講師總同盟總主事高野實（內定）◇午後一時半本社ホール（婦人と勞働組合）講師婦人民主クラブ本部福田會長（內定）

【十二日】◇午前九時、平市勞働會館（改正勞働組合をめぐる諸問題）講師日本勞働組合總同盟縣連合會長田畑金光◇午後一時半、平市勞働會館（現下の失業問題）講師縣勞働部長川崎義雄

配給もの

米二十日分

十二月分主食

食糧配給公團平支所では十二月分の主食配給に就いて次の樣な計畫を樹てている

◇米二十日分◇麥類五日分◇いも類六日分、なお正月用の餅米配給に就いて支局から未だ何等の指示がない

板ガラス

平市經濟課では第二、第三兩四半期分罹災需要者用の板ガラスを前回申込者に配給する十二日から十五日まで配給手續の受付を行い十六日から二十一日まで一人六平方フイート（百八十五円二十一錢）割で行う、割當量は千五百四十六平方フイート

セメント

平市經濟課ではセメント五百俵（二十五トン）の割當があつたので一人一俵（百七十五円）の割で十二日から先着順で受付ける、現物は入荷次第配給する

供米の成績依然低調

割當の僅かに四、五パーセント

郡下の供米は惡天候に支配されてその後も遲々として進まず六日現在で割當二十万七千二百十二俵に對し供出九千俵にとどまり四、五%の低調さそれでもとくに不振なところで未だ一俵も出てないところは平、田人、入遠野、豐間、赤井、四倉、大浦の七ヵ市町村がありこの分では期日（二月末日迄）迄に完遂は至難とされている

保健婦研究會

石城保健婦研究會の十二月例會は七日午前九時から地方事務所會議室で開く

馬セリを見學

いわき乘馬俱樂部では來る八日上遠野村で行われる當才馬セリ市を若松會長の發案で見學する

安定所に希望續出

事業主との懇談會

平公共職業安定所では既報の如く五日午前十時より小名濱町日本水素工業會議室に雇用主側との第一回懇談會を開いた、安定所側から佐藤所長、平山、小松兩課長、雇用主側から日本水素、日本冷藏、鐵工組合關係約十五名が出席、特に安定所側に對する希望意見を聞いた、主な發言は次の通り

▽斡旋をする場合は精密にせん衡をした上で行つて貰いたい、充分にせん衡をしないと困つた人間を引受けることになる△鐵工關係の技術者にはテストをした上で格付けして欲しい、戰時中の速成工員は同じ技術者でも大變違う、また大工場か小工場の何れかに向くかをよく檢討して欲しい△ソ連引揚者の就職には協力すべきだと思う

百日咳流行

注意を喚起

近頃百日咳が各地に流行して來た―平保健所に十月末から十二月五日現在までに屆出てきたものだけで三十七名を數え主に赤井、湯本地區に多く同所ではこれが豫防對策に種々考慮しているが注射液がないため對策に腐心しているので罹患者をなるべく人ごみの中に連れ込まないよう父兄達に注意を喚起している

少年スリ夥しく增加

十一月中に廿四件

歲末防犯に注意喚起

平家事少年審判部で十一月中に受理した少年犯罪件數は六十四件を數え十月中の犯罪件數百十九件と比較し約半數に激減しているが十月中は平事件などで差ひかえていた書類が一度に來たもので實質的にはほぼ同數を示している、內譯は窃盜四十件で依然筆頭を占め次いで住居侵入七件となつており第二位、道路交通取締法違反五件、食管法違反四件、臟物牙保銃砲等所持禁止令違反同二件、強盜豫備窃盜詐欺、暴行、賭犯法各一件となつている、これら少年の窃盜犯罪の手口を見るとスリが壓倒的に多く二十四件次いで店舖荒しや空巣などが殆んどを占めているので年末を迎えて一般に注意を喚起している

縣信保制度の説明會

炭鑛融資を要望

東部石炭協會では五日同協會々議室に『縣信用保證制度の説明會』を開き、縣商工課金融係長谷川主事、縣保證協會專務理事平子忠氏から參集した約三十名の炭鑛經營者に信用保證制度、縣信用保證協會の中小炭鑛に對する積極的な融資保證の斡旋、手續等に就き説明があり午後二時半から同會議室に引續き日銀福島支店岩城長保氏並に市內各銀行支店長、前記長谷川主事、平子專務理事らが集まり縣信用保證協會に對する各金融機關の積極的協力を要望する會議を開いた

五名の薩摩守

平で捕まる

平鐵道公安室では六日次の五名を不正乘車で捕まえた

內郷町綴常磐炭鑛綴鑛外運搬夫松川利男（二五）湯本町天王崎同磐崎鑛支社夫濱尾北太郎（二四）內郷町宮同住吉本鑛抗外夫佐々木義雄（二六）內郷町綴觀物係り某（一八）同常磐中學校二年生某（一四）賭博歸りに大野から平迄無札で乘越して來たものである

惡德記者

恐喝で檢擧

平市新川町常磐新報發行責任者渡邊一郎（五六）はかねてもぐり金貸し、質屋、古物商等經濟違反を犯している人々の弱味につけ込んで『新聞に出すぞ』とか『警察に訴えるぞ』とか脅かして數人から二千円位宛まき上げていたことが判り恐喝容疑で六日夕平市署に捕まつた

木綿の生地八十反

賣込中を檢擧さる

愛知縣碧海郡大濱町古物商角谷よしゑ（三三）はかねて木綿の夜具生地八十反時價五万四千円相當を衣料切符なしで買い受け三日平市二丁目尼子古物交換會に賣り込みに來た所を臨時物資需給調整法違反で平市署に捕まつた

暴行で檢擧

茨城縣那珂郡大宮町丸一興業株式會社雇人市橋利春（二二）は二日午後三時半頃酒に醉つた上湯本町兩島坑附近で同町水ノ谷衛生夫橋本儀三郎さん（六三）に些細のことから因緣をつけ附近にあつたくぬぎの薪をもつて儀三郎さんの頭部を毆りつけ全治二週間の傷害を與えたことが判り同日湯本町署に捕まり五日送檢された、なお取調べの結果同人はほか二件に及ぶ暴行傷害を働いていたことも判つた

四人殺し事件

公判延期

高久村一家四人殺し大谷欣完（二〇）にかかる第二回公判は七日地裁平支部では開廷するはずだつたが檢察官が出張するため延期することになつた

落磐で重傷

五日午後四時ころ久之濱町久之濱炭鑛磐城坑坑內切羽で作業中の採炭夫大谷一郎（三四）さんは落盤により全治三週間の腰部に打撲傷を負つた

二人組少年

泥棒捕まる

三日午前一時頃好間村上好間字上野原三九〇採炭夫濃野實三郎（二四）さん方に二人組の賊押入りゴム長靴、中古皮カバン等九點（時價六千円相當）をぬすんだが家人にみつかり『泥棒』と連呼され、通行中の田崎巡査、大竹刑事に捕まつた、この泥棒は內郷町大字高坂字櫻井九二農業安田順三＝假名＝（一八）と同町大字宮字金坂四五日雇業渡部正雄＝假名＝（一八）と云え小遣錢欲しさに盜みに入つたものである

天気予報

六日

【今晩明日】北北西の風一時やや強く良い天氣、時々雲が擴がり北部山ぞい地方では時雨がある、海上沖合は今晩明日北風波が高いですが沿岸は大部おだやか

MAY
メイ美容室
平市四四六八

おいしいワンタンは
專門店の
華香樓へ
電七〇二番
出前迅速

豐富に入荷御一覧を乞う
Xマスツリー――羽子板
セット各種
官公衙學校銀行會社料飲店
一般の裝飾一切御引受けします
平市驛前通り いわき民報社隣り
東京屋商店（電561）

賣出し御禮
店名披露賣出しにあたりましては多大なる御引立に預り有難く厚く御禮申上げます
抽籤當選の方々を左記の通り發表致します

等	住所	氏名
一等	平市	池田すい樣
	川前村	矢內艶子樣
	豐間村	鈴木峰治樣
二等	平市	新妻福子樣
	同丸通內	山野邊樣
	植田町	木村金兵衞樣
	湯本町	佐々木笑子樣
三等	草野村	瀬戸ツルヨ樣
	泉村	佐藤文子樣
		遠山アキラ樣
	神谷村	佐川テル子樣
	平市	石和田英夫樣
	江名町	坂本樣
	平市	小室樣
	龍田村	笠原ウメ樣
	木戸村	早川フタバ樣
	平市	古市樣
	豐間村	比佐初代樣
		佐藤忠利樣
		小杉樣
		鈴木フク子樣
		庄司レイ子樣
	平市	渡邊シゲ子樣
	內郷町	小林利光樣
	平市	青木樣
	湯本町	比佐利久樣

平市銀座通
電二六五番
デパート 藤越

當店自慢の洋食
一品でも迅速に配達致します
電話一七六番を御利用下さい
◇…年末年始の大小宴會には是非、おいしくて安い簡便なブラジルを御利用下さい。ホール、日本間食室が皆さんをお待ち申して居ります
喫茶と輕食 ブラジル
平市田町四八 電一七六番

キモノと洋服
一般買入と販賣
福屋
平驛前シロカネ通り
電話一〇九三番

國民生命＝平市內月掛保險實施ス
月々僅カナ掛金デ多額ノ保證ト貯蓄ガ出來ル月掛保險ヲ實施シマシタ、入リ易ク掛ケ易ク然モ毎月福島無盡平支社ヨリ集金ニ參リマス
月掛業務職員急募！
男女年令問ハズ親切指導ス
勤務場所平地區
希望者ハ左記ヘハガキデ申込ンデ下サイ
郡山市燧田九三
（舊住友生命）國民生命福島支社

防犯映畫公開
京都市警察局職員延一五〇〇名動員大映會社に依頼製作
世に訴える問題の防犯映畫全四卷は世界館に提供し『無賴漢長兵衛』上映期間サービスとして公開致しますから御來場下さい
搜査本部 特別上映
一期日 十二月五日より八日まで 毎日三回上映（十一時二十分、二時卅五分、五時五十分）
一場所 世界館
主催 平市公安委員、平市警察署、防犯協會

牛豚肉
寒さが強くなりました
榮養豐富の御肉の御用は是非藤越へ…
御惣菜には
味自慢の
カツレツ、コロツケ
其他御注文に應じます
デパート 藤越
平市銀座通 電265

いわし漁業の將來

水產版

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

遂にイワシも四年越の不漁が決定的となつた、記者は特にイワシ漁業の研究家で縣下の權威として定評ある縣水試囑託小名濱水產高校山村彌六郞氏に『小名濱近海のイワシ漁業とその將來』と題する一文を執筆願つた、殊にイワシ漁業に依存度の高い本縣水產界に好個の資料となるので紙面の太半を割り揭載することにした

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

好漁時代を夢見るな

資源的には根絕してないが結局濫獲と海況異變がガン

小名濱のイワシ漁業は昭和の初頭動力船による揚繰網の操業開始と共に次第に勃興したものであつて、昭和二年（五統）昭和四年（六統）昭和九年（八統）昭和十年（一三統）昭和十一年（一五統）昭和十二年（一七統）昭和十七年（一九統）昭和十八年（二一統）に達し八戸、銚子波崎に次いで東北海區第四位の統數を有するに至つた、昭和以前に於ては地曳網及刺網による輕微なものであつたらしい、而してその漁獲高は昭和の初めから次第に急激に增加し、昭和十年には一千万貫を突破し、昭和十三年に一時的不況を見たが昭和十四、十五年には再び豐漁を示し、昭和十六年頃から稍稍衰え始め、昭和十九年に至り急激に減少しそれ以後減少の一路をたどつていることは周知のことである

東北海區のマイワシ漁場の季節的變化は、先づ九月から十二月石巻灣で好漁、一月同灣の田代島、網地島方面の定置網に若干の漁があるけれども大部分は南下し福島縣近海では早ければ十一月下旬遲くても十二月には漁が始まる　十二月、一月は鹿島灘から九十九里方面のマイワシの最盛期で二月以降次第に減少するのが普通であるが、三月、四月五月に大漁があり、第二の漁期が出現する事も多い、六月、十月は小名濱方面ではマイワシの回游甚だ稀で、カタクチイワシが主となる

マイワシ漁場は極めて岸に近く、二―一〇マイル以內であるから、マイワシ群がこの範圍に群來する場合には豐漁となりそうでない場合にはたとえおき合に居ても好漁とはならない、そのマイワシの接岸狀態は海況の支配を受けるもので、その海況の要因のうち水溫は最も重要な因子と考えられるから、マイワシの適水溫である一二―一四度の線がどのように分布しているかを知ることがマイワシ漁の消長を知る上に極めて重要な手掛りを與えるであらう

この見解の下に筆者は鹽屋埼正東線の水溫垂直分布と小名濱のマイワシ單位漁獲量（一日一統當り）の關係を調べ、大体に於て適水溫帶が岸近く壓迫された年（昭和十年一月、十一年五月、十二年一月、十四年十二月）に好漁を示し、かい游の不適水溫帶が近ずいた年（昭和八年十一月、十三年三月、十九年十二月等）又は適水溫であつてもその範圍が極めて狹がつている年（昭和十年五月）には明らかに不漁を示すことを檢出した、このように小名濱近海に於けるマイワシ漁の消長は適水溫帶の接岸狀況と密接な關係があることが判つたが、この適水溫帶の接岸狀況は小名濱沖合を北上する黑潮分枝と南下する親潮前線との衝突によつて出來る潮目線が適水溫帶を岸近く壓迫するかどうかに依存するのである

昭和十八年から二十二年までの小名濱漁場のマイワシの年令組成を体長分布から推定した結果、昭和十八年には六七寸の大羽イワシが非常に多く昭和十九年には數え年三才魚が、昭和二十年には二才魚が、昭和二十一年には四才魚が昭和二十二年には三才魚が多く、五年間を通じて二才魚が二一％、三才魚が五四％、四才魚が二五％である、これは相川博士（昭和十五年）の調査―當才魚四％、二才魚六〇％に比べて高年魚の割合が增加して來ていることがわかつた、即ち昭和十一―十六年頃の好漁時代には小羽イワシが非常に多かつたのに昭和十七年以降不漁時代になると共に**大羽イワシ**が增加したという業者の言を裏付けている

小名濱マイワシ漁の性格は石巻灣より鹿島灘へと岸沿いに南下するかい游魚群を捕捉するものであるから、其漁期は比較的短期間である、それに小名濱沿岸は地形が單調で河川の流入も少な、從つてイワシの餌料たるプランクトンの繁殖を促すべき榮養鹽類に乏しいから、特別の事情のない限りマイワシ群は足早に素通りしてしまう傾向が強い、併しここに注目すべきは、小名濱沖合でかん暖兩流が相交錯することで、ここに生ずる潮境の線がマイワシ群の通路を制約していることである、即ちこの潮目が年により月により移動變化してマイワシの適水溫帶を岸近く壓迫するときは豐漁となり沖合に後退して、適水溫帶を擴げるときは魚群は散逸して不漁を呈するのである

ところが昭和二十年以降に於てはこの理も成り立たなくなつてしまつたことで、その理由としては（イ）濫獲によるマイワシ資源の涸渇、（ロ）海況異變による魚群の逸散（ハ）その兩者の複合等が考えられ、多くの學者の意見が對立して論爭が繰返されている狀態である、即ち小名濱のマイワシ漁獲高の例をとつて考えるならば、昭和の初めから六年頃までは揚繰網統數の增加と共に一統當り漁獲高も急速に增加し、七年頃から十年頃に至る間は統數は增してもその割に漁獲高は增さず、十一年以降に於ては統數は增せども漁獲高は却つて減少して來ている事實は、見かけ上は、明らかに**濫獲の**定義に當てはまる　併し乍ら、一方昭和十七年頃からかん流勢力が次第に東北沿岸に發達して來て、從來岸沿いに南下していたマイワシもその魚道を變えるようになりまたそのかん流勢力のため太平洋側近海のマイワシ產卵場に變動を來したためで決して資源は涸渇したわけでなく、沖合には相當マイワシが群れているとする學者もある、即ち太平洋本土に沿うて黑潮が流れているが、その流れは決して平調なものではなくて渦を巻きながら流れており、その渦は下層の榮養鹽に富んだ水を吸い上げるのでプランクトンの發生が多く、從つて魚群を集める、その渦が偶偶本流をはなれてフラフラと岸に近ずくときに相遇すれば思わぬ漁を見ることもあつて（本年一月初旬がその例）**沖合棲息**說も強ち否定は出來ない、面白いことにはその時にとれたマイワシの体色が著しくコバルト色を呈していたことであつて、これは恐らくその体色が外洋水の水色に順應したためと思われる（木村博士によると東京灣の如き內灣でとれたマイワシの体色は黃色がかつた綠色であつたと）その他、太陽黑點の盛衰とイワシ漁の消長との關係や、沿岸水溫の長期變動とイワシ漁の長周期、短周期說などもあつて一々說明することは紙數も許さないので、結論をいうと要するにマイワシ資源は根絕していないがここ數年のうちに昭和十五、六年頃の好漁時代を再現することは見込みうすであるから小名濱近海のイワシ揚繰業者はそれのみに依存することは危險であらう。（昭二四、一一、三〇）

海上保安協會を結成

支部長に三代義勝氏就任

財團法人海上保安協會福島縣支部の結成大會は一日午前十時より小名濱海上保安署に原釜、久ノ濱、四倉、江名、小名濱の各海事關係代表者十六名が出席して開催した、先ず開所鹽釜海上保安本部長から支部設置の意義について說明があつて佐藤保安協會鹽釜本部長から挨拶があつたのち世話人代表三代義勝氏から支部設置に至るまでの經過報告があり、支部細則案の討議を行い役員選擧に移り次の如く役員を決定、支部長に三代義勝氏（小名濱）が當選した

◇支部長三代義勝（小名濱）◇副支部長金成德治（江名）菊池要重郞（原釜）◇常任幹事長坂本義信（江名）◇常任幹事田島榮夫（小名濱）吉田豐吉（江名）高木好之助（久之濱）鈴木常松（四倉）長谷川長太郞（四倉）齋藤平一郞（豐間）◇顧問水野政次郞（小名濱）坂本淸松（江名）黑川喜一郞（江名）鈴木傳二（四倉）

今度誕生した同協會縣支部は小名濱漁業協組に事務所を設ける豫定で今後は海上保安署の職員の福利厚生やその他の救濟事業並に海上保安思想の普及を圖つて行く方針である

實習設備費の增額陳情

小名濱水產高校では二十三年二月の縣會で三百四十一万円の豫算を得、更に業者側からも寄附を仰いで實驗實習設備と校舍の完備を圖ろうと努めたが不漁のため業者からの寄附が得られず校舍の增築のみで終つて仕舞つたので實習設備費を新年度に繰入れて貰いたいとこの程縣へ陳情書をおくつた

殆ど不合格

衛生檢査　四倉罐詰は優秀

平保健所では十一月第二回魚肉販賣店舖の衛生施設狀點檢査を實施したがこの結果がこの程まとまつた、今度の調査は植田、四倉、小名濱、平、湯本、內郷、赤井、好間の八カ市町村を對象として行い店舖檢査數は九十六件で內成績別に見るとA級は一件もなくB級十件、C級二十八件、不合格のD級が四十二件もあり一般的に不衞生だつた、特に惡かつたところは內郷、好間方面で平市なども成績は惡く三十三件を檢査したうちC級九點D級二十四點で、A、B級が全然ない仕末、今度の檢査で一般的に惡かつた點は天井と防虫の設備がないことと地盤はコンクリートを原則としているのに土壤の店舖が多かつた事等でこれらのものは食品店舖として資格がなくD級のものには二カ月以內に改善をするよう指示した、なおこれと同時に燻製品製造工場の檢査（小名濱、四倉）も合せて行つたが設備は昨年よりは向上していたがそれでもやはりD級は三分の一を占めていた、なお四倉罐詰工場は九十五點と云う優秀な成績で初のA級をもらつた

臨時檢査員

六名を新配置

縣水產物檢査所では最盛期間中の半年間に臨時檢査員を六名任命し二日辭令傳達式を行つた新配置は小名濱二名、四倉一名　中村三名これで縣下の實際に擔當する檢査員は二十名となつた

底曳好調

三日曳で千五百貫

これから多くなる雜漁類

近ごろサンマ一色の魚屋さんの店頭にタコ、ヒラメ類、アカジ、カナガシラ類が出廻りはじめ各家庭のお台所を喜ばせている―これは遠いサンマ漁場に行けない小型底曳船が底曳專門に漁ろうを始めたからで縣水試無電局の話では出漁船が七隻（何れも無線裝置のあるもの）三日曳で千五百貫、日歸りで五、六百貫の漁があり割合良い成績を占めしておりサンマ漁に參加している棒受船に比し惡くないようだ、何せ九月以來殆んどサンマにばかり熱中している折柄だけに底曳ものは賣切がよく歡迎されている、然しサンマも今月一杯で切上げ來年からは續々と底曳に轉換することになり間もなく雜魚が多く揚り始める見透しである

漁獲より調査本位に

指導船の新年度事業計畫

縣水產試驗場では指導船共盛丸（百二十八トン）の運營について二十五年度事業計劃をたてるべくこの程業者側代表と協議した結果次の如く基本方針を決定した、これによると來年度は漁場調査と船員の養成に重點を置き漁獲收入は最低限度に見積つている、特に深海、サバ、イワシの漁場調査を新らしく試みる點注目されている、新事業計畫次の通り

【深海調査】今までは二百五十ヒロ以上に亘つて操業している漁船がない[illegible]資源の涸渇を傳えられる折柄深海漁場の調査を三月頃行う【鰹漁場調査】業者の出漁する時[illegible]必要があるので四月から行う【鯖漁場調査】房州から伊豆附近では集[illegible]し一本釣によつて[illegible]いので本縣沖で[illegible]を六月ごろ行う[illegible]群が灯につくかどうか[illegible]る【鰯漁場調査】[illegible]る前に宮城縣沖[illegible]ろ行つて資料に[illegible]魚漁場調査】[illegible]く九月ごろ[illegible]【鮪漁場調査】一月から[illegible]にかけて延繩に從事[illegible]ら行う【海洋調査】四、六、八、十一の五カ[illegible]つて全國連絡調査に[illegible]る【船員養成】[illegible]養成に重點を置き[illegible]堅層を確保する

出荷計畫

十二月分決る

縣水產事務所十二月生[illegible]物縣內出荷計劃並に十[illegible]水產廳指示の甲級並に[illegible]揚地縣外出荷計劃は次[illegible]（單位千貫）

【縣內出荷計劃】小[illegible]四七、江名三四八、[illegible]四五、久之濱三七、[illegible]中○五四、豐間九、計[illegible]△地元消費一四△加[illegible]一一四△特需向四△[illegible]七八【甲級陸揚地別[illegible]】小名濱一、〇八五[illegible]一、六六五、合計二[illegible]○【乙級陸揚地縣外[illegible]示】四倉一八五、久[illegible]二中村二五　勿來[illegible]間一五、合計三[illegible]

☆……☆今週の潮

	滿潮	干潮
八日	七、三〇分 一六、一五分	[illegible]
九日	七、五五分 一六、五五分	[illegible]
十日	八、四〇分 一七、三〇分	[illegible]
十一日	九、一五分 一八、三〇分	[illegible]
十二日	一〇、〇〇分 二〇、〇〇分	[illegible]
十三日	一〇、三〇分 二一、五五分	[illegible]
十四日	一一、一〇分 二二、三五分	[illegible]

三馬弘進

水產用ゴム製品

主要製品

ゴム靴．ゴム合羽類

地下足袋．布靴類

三馬弘進ゴム株式會社

代理店　小島ゴム店

小名濱町第一小學校前

電話三四〇番

豫約登錄は

皆さまに評判の良い

品質本位の三馬弘進ゴムへ

營業品目

三井精機

自動三輪車オリエント號

自動車用品　木炭

代燃車部品　薪

ボールトナット

ナットビス

オリエント號自動三輪車代理店

日本興業株式會社

小名濱營業所

小名濱町定西四　電三二五番

內科　外科　小兒科

金成醫院

平市鍛冶町　電八二六

醫師　諸橋一郞

ぢ疾

でお困りの方に

ぜひおすゝめしたい

許可の專門薬が御座居ます

どうぞ一度御來談下さい

藥は信用第一

信賴して御相談下さい

小名濱町本町

ダルマ藥局

電話三一一番

耳鼻咽喉科

高柳醫院

平驛前　電（二一番）

高柳博明

內外有名會社

各種時計

船舶用時計

修理は正確と迅速をモットーとしております

在庫豐富

取揃えてあります

松原時計店

小名濱町本町

電話二八三番